



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎69・3706

図書館だよりがタイトル
を変えてリニューアル!

図書館へ行こう

★あらかま便利！インターネット予約

みなさん、「インターネット予約」を使っていますか？これはわざわざ図書館に行かなくても、パソコン、スマートフォン、携帯電話を使って本などの予約ができる便利なサービスです。



子育て中やお仕事などが忙しく図書館に来てゆっくり本を選べない方に特におすすめします。詳しくは本館受付へどうぞ♪

★もっと便利に！キーワードを登録しよう

インターネット予約の利用を始めたら、「新着案内メールサービス」もおすすめの機能です。興味のある内容を登録しておく、新しく図書館に入った本やCDの中からキーワードに合うものを週に1回メールでお知らせします。

図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪

実用



『名前が出ない』がピタッとなくなる覚え方
宇都出雅巳／著 マガジンハウス

旅行



『静岡・愛知 ご朱印めぐり旅
乙女の寺社案内』
ふじのくに倶楽部／著 メイツ出版
『学芸員と歩く 愛知・名古屋の戦争遺跡』
伊藤厚史／著 六一書房

クラフト



『レザークラフトの基本講座』
協進エル／監修 スタジオ タック クリエイティブ

スポーツ



『これならわかる オリンピックの歴史』
石出法太・石出みどり／著 大月書店

詩



『しかえししないよ』
日野原重明／著 朝日新聞出版

エッセイ



『ヨーコさんの“言葉”それが何ぼのことだ』
佐野洋子／文 北村裕花／絵 講談社

絵本



『ちっちゃいさん』
イソール／作 宇野和美／訳 講談社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

モノの睡蓮水槽作戦



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

■巨大水槽を活用せよ

水族館の裏庭に数年前にどこからともなくやってきて我々から通称「プロレスラーの棺桶」と呼ばれている巨大な水槽が放置されている。雨水がたまり抹茶色に濁った水の中で大量のボウフラが嬉しそうに踊っている。これではいかんというところでこの巨大水槽を稼働させようという事になった。寸法を測ると幅250センチ、高さ60センチ、奥行き90センチの水量は1トンを超える特注水槽。

■何を入れるのか、場所がない

巨大魚の飼育をやめた愛好家から寄付されたものだった。長い間放置されていた巨大水槽に何を入れて展示するか、が問題となった。放置されていたそのままのボウフラを展示するのも全国の水族館には非常に珍しいのではなか、という挑戦的意見は館内がボウフラからかえった蚊まみれになることが容易に想像されたので無視された。考えているうちに浮上した新たな問題は「置く場所がない」という事であった。サッカーコート

■モノの水槽

館内には置けないので仕方なくアシカショーの柵の裏に設置した。アシカショーエリアから柵越しに見える場所で、なんとかお客さんの目に付く。展示テーマは「モノの池のようなもの」となった。画家のモノが描いた有名な睡蓮の池の再現。スタッフ5人で重たい水槽を運び設置。重たくて腰を負傷するスタッフ約2人。足を挟まれる人1人。こけむした緑色の雨水はかき出

■モノ崩壊

して新しく透明な水を張り、園芸センターからスイレンを買ってきた。鯉はいないのでメダカを泳がせた。翌日にはアメンボがどこからともなくやってきた。仕事の合間に眺めると癒され安らぎウットリする。順調にスタッフに安らぎを与えていたモノの睡蓮水槽だが、最近コケが生えてきて水が放置してあった雨水ボウフラ池の時と同じように緑がかった。コケの進行は早い。清涼な透明の清い水にスイレンを縫うように泳ぐメダカの光景はわずか数週間で消え、現在はコケと戦っている状態となった。水の状態が安定するとコケはまったく生えなくなるが、この先どうなることか。